



船員さんになったよ！

～ジャンボフェリー「あおい」にて親子交流海洋教室を実施～

神戸運輸監理部は、令和6年8月25日(日)に、神戸市及び神戸海事広報協会との共催（協力：ジャンボフェリー株式会社、神戸地区内航船員確保対策協議会及び日本内航海運組合総連合会）で、わが国における海の役割や船員の仕事を知っていただく事を目的に、兵庫県内在住の小学3年生から中学3年生とその保護者を対象に親子交流海洋教室を開催しました。

神戸運輸監理部では、海や船、船員の仕事について学ぶ機会を通じて、その重要性を知っていただくために様々なイベントを開催しています。

今般、ジャンボフェリー株式会社のご協力により、神戸ー高松間を航海する「あおい」の船内で親子交流海洋教室を開催しました。このイベントには、定員を大きく上回る470名の応募があり、抽選の結果、当日は29組58名の親子が参加しました。

昨年度の親子交流海洋教室では「あおい」のダイヤの都合上、高松から乗船しましたが、7月にダイヤ改正を実施したことにより、神戸発の朝便に乗船することができました。

当日は7:20に三宮駅前に集合後、神戸三宮フェリーターミナルに移動し「あおい」に乗船。8:15に高松へ向けて出港し、航海中に船内で数多くのイベントを行いました。まずは、神戸港出港中に神戸市港湾局職員が神戸港の役割や歴史について説明しました。次に神戸運輸監理部の岡村海事振興部長が船室で「海運、港運、造船や船員の仕事」について説明し、引き続きデッキ上で実際に行き交う船や明石海峡大橋を見ながら、どのように航海するのか解説しました。バックヤードツアーでは、航海中は立ち入れないブリッジや船長室、食堂を見学し、船員の仕事を体験しつつ、神戸海洋少年団による手旗信号・ロープワーク教室で船員さんの技に触れた後、13:00に高松東港に入港、下船しました。

参加者からは「将来船長になりたい」「船員の仕事を知る機会がなかったが、やりがいのある仕事だと知ることができた」「船員という仕事を子供に勧めてみたい」「フェリーが身近になったので、ぜひ利用したい」「船長と一緒に舵に触れて楽しかった」などのうれしい感想をいただきました。

親子交流海洋教室の開催を通じて、岡村海事振興部長は「多くの皆様のご協力で今年度も無事開催することができました。この航海を通じて、子どもたちは船と港の役割を知り、船員の体験ができたことと思います。中には船の学校に通いたいという子どもたちの声もありました。この夏休みの経験が参加した子どもたちの人生に響くだけでなく、子どもたちの話を聞いた周りのお友達も含めて、海や港、船への深い理解や、船員への憧れに必ず繋がるものと信じています。」と手応えを感じました。

神戸運輸監理部では、これからも関係諸団体と連携しながら、子供たちに海や船、船員の仕事に興味を持っていただける取組を続けて参ります。



ブリッジの見学（操舵）



参加者の皆様



岡村海事振興部長による
デッキでの特別授業

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 海事振興部 船員労政課
担当：中江、江川
電話：078-321-3149（直通）



神戸運輸監理部公式X